

◎各教科の「見方・考え方」

教科	分野	見方・考え方
国語科		対象と言葉、言葉と言葉との関係を、言葉の意味、働き、使い方等に 着目して捉えたり問い直したりして、言葉への自覚を高めること。
数学科		事象を、数量や図形及びそれらの関係などに着目して捉え、論理的、 統合的、発展的に考えること。
英語科		外国語で表現し伝え合うため、外国語やその背景にある文化を、社会 や正解、他者との関わりに着目して捉え、コミュニケーションを行う 目的や場面、状況などに応じて、情報を整理しながら、考えなどを形 成し、再構築すること。
理科	物理分野	エネルギーに関する自然の事物・現象を量的・関係的な視点で捉え、 観察・実験の結果を分析・解釈し、規則性を発見したり課題を解決し たりすることを通して、日常生活や社会と関連付けて考える。
	化学分野	粒子に関する自然の事物・現象を質的・実体的な視点で捉え、実験の 結果を分析・比較することで、共通性・相違性を考える。
	生物分野	生命に関する自然の事物・現象を共通性・多様性の視点で捉え、自然 を概観し、自称を比較・検討することで、自然環境を多面的に考える。
	地学分野	地球や宇宙に関する自然の事物・現象を時間的・空間的な視点で捉 え、資料を分析・解釈しながら事象を比較・関連付けさせて考える。
社会科	地理的分野	社会的事象を位置や空間的な広がりに着目して捉え、地域の環境条 件や地域間の結び付きなどの地域という枠組みの中で、人間の営み と関連付けること。
	歴史的分野	社会的事象を時期、推移などに着目して捉え、類似や差異などを明確 にしたり事象同士を因果関係などで関連付けること。
	公民的分野	社会的事象を政治、法、経済などに関わる多様な視点に着目して捉 え、よりよい社会の構築に向けて、課題解決のための選択・判断に資 する概念や理論などと関連付けること。
音楽科		音楽に対する感性を働かせ、音や音楽を、音楽を形づくっている要素 とその働きの視点で捉え、自己のイメージや感情、生活や文化などと 関連付けること。
技術家庭科	技術分野	生活や社会における事象を、技術との関わり方の視点で捉え、社会から の要求、安全性、環境負荷や経済性などに着目して技術を最適化する こと。
	家庭分野	家族や家庭、衣食住、消費や環境などに係る生活事象を、協力・協働、 健康・快適・安全、生活文化の継承・創造、持続可能な社会の構築等 の視点で捉え、よりよい生活を営むために工夫すること。
美術科		感性や想像力を働かせ、対象や事象を造形的な視点で捉え、自分とし ての意味や価値をつくりだすこと。

保健体育科	体育	運動やスポーツを、その価値や特性に着目して、楽しさや喜びとともに体力の向上に果たす役割の視点から捉え、自己の適正等に応じた『する・みる・支える・知る』の多様な関わり方と関連付けること。
	保健	個人及び社会生活における課題や情報を、健康や安全に関する原則や概念に着目して捉え、疾病等のリスクの軽減や生活の質の向上、健康を支える環境づくりと関連付けること。
特別支援	保健体育	運動やスポーツについて、その意義や特性に着目して、楽しさや喜びを見出すとともに体力の向上に果たす役割を捉え、公正、協力、責任、参画、共生、健康・安全といった視点を踏まえながら、自己の適性等に応じた『する・みる・支える・知る』の多様な関わり方と関連付けること。